

デパートで買うと、あんなような形でしたね。この当時、自分で仕立てるっていうのは、やっぱりまだ？仕立てることもできますけど、子育ての頃になるとそんなことしてられませんからね。既製服で、結構バラエティーのある服っていうのはもうあったんですか。既製服というか。あの頃は、イージー

イージーオーダーってありますね。一応、探すしてもらんですけど、仮縫いがないんです。だから、イージーなオーダー。一応、オーダーですけれど、仮縫いがないオーダーですから少し安上がりっていうか。それでも一応、探すしてもらいますから、つるしよりは体に合うっていうことですね。懐かしい

新幹線はオリンピックのときですからね。この年は60年安保の年だからね。すごかったのよ。この後ね、6月に。ものすごかったんです、デモがね。その当時、ご自身はどういう立場でかかわってらっしゃいました？いや、10代だったんですけど。デモに行きましたよ。場所はどういう場所で？国

前です。デモはね。そのときにどれくらいの人数が集まるんですか。ちょっと人数は分かんないけど、何十万って、国会の前が全部人で埋まる。この今の突き当たりにあるすてきなビル。もうちょっと右です。第一生命ですかね、これ。あれが、マッカーサー元帥がGHQホームですよ。あちこち（＊）

安保の話、ちょっとだけ戻していいですか。その当時の雰囲気っていうのは、例えば今の何かの状況で言うと、何かに似てたりします？その熱気っていうのは今見ること、感じることはあります？似たようなので。今は、あまりデモっていうのはなくなっていますからね。今、東京タワーが出ましたね

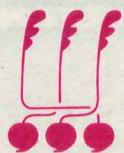
戦時中、防空壕を造ったと思うんですけど、防空壕は、基本的には家の中を掘るんじゃなくて。庭の一部を掘るんです。庭を掘るんですよね。家の中を掘るっていうのはない？あまり。それはないと思いますよ。家が焼かれたら。崩れちゃうから。みんな庭でしょうね。うちの、ああいう縁の下

せたがやアカブの会 vol.17 後半
日時：2018年10月24日(水) 19:45～20:30
場所：生活工房ワークショップルームA
参加者：9名
世話人：2名



穴アーカイブ : an-archive

記録を残すという営みを、記録が残らないこと、すなわち、記録の不在(穴)から捉え直す反(an)アーカイブ的アーカイブの試み。昭和30~50年代にかけて市販された8ミリフィルムという映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、くらしに光をあてる。2015年から始動。



せたがやアカカワの会 : The setagaya akakawa circle
穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観ながら語り合う小さな集いの場。ほぼ隔月で開催。開催予定、上映内容は、生活工房HPまたは〈お問い合わせ〉からご確認下さい。一見さん大歓迎。本誌くかぶうずら、やまいもうなぎは、当会の断片的・公式活動記録。



元日の家電製品の全面広告です。「電化の初夢」というフレーズが印象的です。洗濯機が20,000円、テレビが61,000円からという値段です。公務員の大卒初任給が1万円くらいの時代です。こうした家電に混じって「電動井戸ポンプ」(左上)が売られています。農地が多かった世田谷でも、こうした製品の需要は高かったのでしょうか。



かぶうずら、やまいもうなぎ アカカワの会の記録 2018 no.6
発行日: 2018年11月21日

お問い合わせ: 生活工房 03-5432-1543 info@setagaya-ldc.net
編集: せたがやアカカワの会世話人(松本篤、八木寛之、成田海波、ブルサコワありな)
主催・発行: 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キヤロットタワー
<http://www.setagaya-ldc.net/>
企画制作: remo [NPO法人記録と表現とメディアのための組織]
後援: 世田谷区、世田谷区教育委員会

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。